

公共事業事前評価調書(令和6年度予算要望)

所管課: 港湾課

担当班: 計画調査班

事業名	仲間港港湾改修事業		事業区分	港湾事業	事業主体	沖縄県
事業箇所	竹富町仲間地先					
事業の諸元	①防波堤(東)嵩上げ改良 L=250m、②防波堤(南)嵩上げ改良 L=75m					
事業の概要	<p>当該仲間港は、西表島の東側に位置する地方港湾であり、石垣島との間に定期高速船が多数運航しているほか、定期フェリーや地元の小型船、作業船等が利用している。</p> <p>また、石垣港から仲間港までの航路上は、季節風による波浪の影響を受けにくく、定期船は通年一定して就航しており、仲間港は西表観光(令和3年の入域観光実績約12万人)の玄関口となっている。</p> <p>本事業は、既設防波堤の天端高が低く、過去の台風時に浸水被害等が生じていることから、嵩上げ改良を行い浸水被害の回避、港内静穏性の向上を図る。</p>					
事業の必要性・効果等	<p>《必要性》</p> <p>仲間港は定期船が利用する西表島の玄関口になっている他、隣接する仲間川の観光遊覧船等も利用しており、地元の観光産業には不可欠な港湾である。</p> <p>しかし、過去の台風来襲時には旅客待合所の浸水被害や車両、コンテナが流される被害が発生している。</p> <p>また、台風時における港内の静穏性が低いため、西表島に接近が予想される台風の度に隣接する仲間川の上流に避難係留している船舶が存在している。避難は台風接近の前後1日(合計2日)を要し、避難者にとって多大な負担となっている。</p> <p>浸水被害の回避、静穏性の向上を図り、港湾利用者の安全・安心を確保する必要がある。</p> <p>《効果》</p> <p>防波堤の天端を超える波浪を抑制することで、港内への到達波高が低減し浸水被害の軽減が図られる。また、港内の静穏性が向上し、台風接近時における港外への避難回避につながる。</p>					
事業期間	事業採択	令和6年度	完了(予定)	令和9年度		
全体事業費	8.4	(億円)	補助・単独の別	補助	補助率	9/10
費用対効果	B/C	総便益:B	11.3	総費用:C	6.9	基準年
	= 1.65	旅客ターミナルの浸水被害の回避便益等(割引後):	11.3億円	総事業費+維持管理費(割引後)	6.9億円	令和5年度
事業着手の熟度・上位計画との整合性	新・沖縄21世紀ビジョン基本計画において、「基本施策2-(8)離島・過疎地域における安全・安心の確保と魅力ある生活環境の創出」に位置付けがある。					
環境への配慮	施工時には、汚濁防止膜の設置等によって、環境への影響を最小限にする。					
関係する地方公共団体等の意見	竹富町から整備に関する要望がある。					
概要図(位置図)	<p>The figure consists of two parts. On the left is a location map showing the islands of Nakama Port (仲間港), Nishihara (西表島), and Nakama (竹富町). On the right is an aerial photograph of the harbor with red arrows pointing to the locations of the two improvement projects: ① East breakwater heightening (防波堤(東)嵩上げ) and ② South breakwater heightening (防波堤(南)嵩上げ).</p>					